

PF-SV1000

VMSソリューションサーバ

設置運用マニュアル



取扱説明書

JAPAN SECURITY SYSTEM
Safety and trust keep to the future

取扱説明書を読む前に



本取扱説明書では、VMSソリューションサーバ PF-SV1000の設置および運用のための基本的な説明を記述しています。

本機をはじめてご使用になるユーザーの方はもちろん以前多くの類似装置を使用してきたユーザーの方でも、ご使用前には必ず本取扱説明書をよく読み注意事項をご確認の上、本機を使用することをお勧めいたします。なお、安全上の警告および注意事項は製品を正しく使うことで危険や財産上の被害を防ぐことにつながるため、必ずお守りください。

お読みになった後は、いつでも確認できる場所に必ず保管してください。

- 規格品以外の製品を使用することで発生した損傷、または取扱説明書の使用方法を従わずに発生した製品の損傷は、当社で責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 当該機器を初めてご使用になるか、使い方がよく分からないユーザーは、設置や使用する途中で必ず販売店までお問い合わせ頂き専門のエンジニアのサポートを受けてください。
- 機能拡張および故障修理のために装置を分解する場合は、必ず販売店までお問い合わせいただき専門家のサポートを受けてください。
- 本機は業務用として電磁波適合した装置ですので、販売者または使用者はこの点にご注意ください。もし、誤って販売または購入した場合には、家庭用のものに交換してください。
- 本製品は電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線（公衆無線LANを含む）に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルータ等を経由し接続してください。
- 予期せぬ停電による製品の損傷を防ぐため、UPS(Uninterruptible Power Supply、無停電電源供給装置)の設置をお勧めします。詳細はUPS代理店にお問い合わせください。

安全上の注意事項の表示



	注意 感電の危険があるので開けない ください。	
注意:感電の危険があるのでカバーを取り外さないでください。 修理は資格のあるサービス担当者へ依頼してください。		





この事項を守らない場合、死亡したり重症を負う恐れがある内容です。



この事項を守らない場合、軽症を負ったり財産の損害が発生する恐れがある内容です。

記号	規格	タイプ
	IEC60417, No.5032	交流
	IEC60417, No.5031	直流

本文での表記

アイコン	表記	意味
	注意	本機の機能や動作に関する内容で、必ず熟知しておかなければならない内容です。
	参考	本機を使用する上で役立つ内容です。

本文章の内容は予告なく変更する場合があります。

本機には一部のオープンソースを使用したソフトウェアが含まれています。ライセンス政策のソース公開支援可否によって、該当ソフトウェアのソースコードを希望する場合は提供受けることができます。詳細内容は製品本体の設定メニューから「システム - 製品情報」の画面でご確認をお願いします。本製品はUniversity of California, Berkeleyが開発したソフトウェア及びOpenSSL Projectが開発したOpenSSLツールキット用のソフトウェアを含めております。また、この製品はEric Young (eay@cryptsoft.com)が作成したソフトウェアとTim Hudson (tjh@cryptsoft.com)が作成したソフトウェアを含めております。

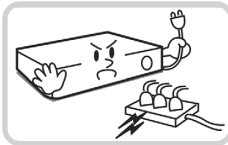
本製品は下記URLに掲載されている特許の1つ以上の請求項の権利範囲に含まれています。
patentlist.accessadvance.com

安全上の注意事項

製品を正しく使うことで使用者の安全を確保し、財産上の損害などを事前に防止するための内容であるため、必ずお守りください。

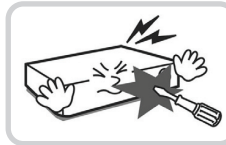
警告 この事項を守らない場合、死亡や重症を負う恐れがある内容です。

設置について



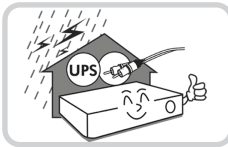
設置する前に必ず本機の電源をOFFにしてください。本機が使用するコンセントは、タコ足配線は止めてください。

異常発熱や火災、感電の原因となります。



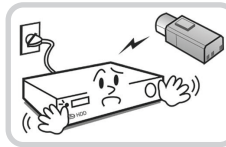
本機の内部に高電圧部分があるため、任意で蓋を開けたり分解・修理・改造したりしないでください。

異常作動により火災や感電、けがの原因となります。



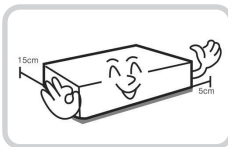
停電や落雷による被害を防ぐため、保護設備を作ってください。

火災、感電、けがの原因となります。



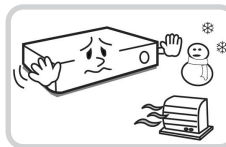
カメラの新規設置および追加工事の前には必ず本機の電源をOFFにし、製品の駆動中には絶対に信号ラインを接続しないでください。

火災、感電、けがの原因となります。



本機の後面には接続のための端子が突出しているため、壁に近すぎるとケーブルが無理に曲がったり押さえつけられたりして破損する恐れがあります。壁から15cm以上の間隔をあけて設置してください。

火災、感電、けがの原因となります。



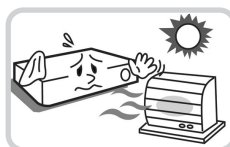
温度が高すぎる場所(40℃以上)や低い場所(5℃以下)、湿度の高い場所には設置しないでください。

火災の原因となります。



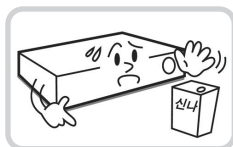
湿気、ホコリ、煤などの多いところ
には設置しないでください。

感電、火災の原因となります。



直射光線の当たらない涼しい場
所に設置し、適正な温度を維持し
てください。ロウソクや暖房器具
など、熱を発する機器の近くには
設置しないでください。

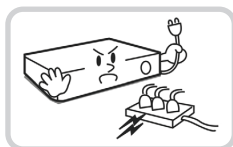
火災が発生する恐れがあります。



設置する場所は、ホコリが溜まら
ないように常に清潔を保ってくださ
い。製品を掃除するときには、必
ず乾いた雑巾で拭き取ってくださ
い。水やシンナー、有機溶剤は使
用しないでください。

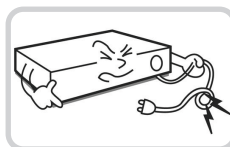
製品の表面を傷つけ、なお、故障や
感電の恐れがあります。

電源について



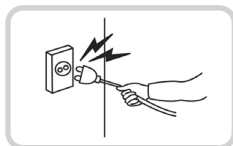
本機が作動するための電源電圧
は、電圧の変動範囲が規程電圧
の10%以内である必要があります。
電源コンセントは必ず接地す
るようにしてください。電源ケー
ブルを接続するコンセントには、
ヘアドライヤーやアイロン、冷蔵
庫などの電熱器具を一緒に使用
しないでください。

異常発熱や火災、感電の原因とな
ります。



電源ケーブルを無理に曲げたり、
重い物を乗せたりしてして破損し
ないようにしてください。

火災の原因となります。



電源ケーブル部分を無理に引き抜いたり、濡れた手で電源プラグに触らないでください。コン
セントがゆるい場合は電源プラグを差し込まないでください。

火災、感電の恐れがあります。

アース（接地）は確実にこなう。電源コードには感電を防ぐためのアース線があります。電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をアースに接続してください。確実にアース接続しないと、感電の原因になります。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いたあとで行なってください。

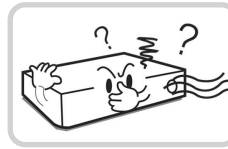
本製品に付属の「電源コード」は本製品専用のもので、他の製品に使用することはできません。なお、他の製品への転用は保証できません。

使用について



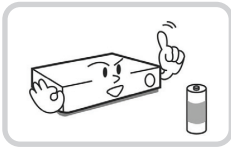
製品に水、または異物が入った場合、すぐに電源プラグを抜いてサービスセンターまでご連絡ください。

故障、火災の原因となります。



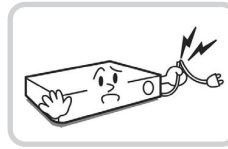
異常な音がしたり臭いがしたりする場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店やサービスセンターまでお問い合わせください。

火災、感電の恐れがあります。



電池は製造者が指定した同一型番または同等品だけを使用してください。使用済み電池は製造者の指示に従って廃棄してください。

爆発の恐れがあります。



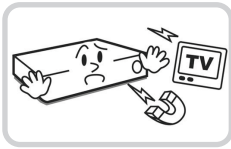
湿気のある床や接地されていない電源延長ケーブル、被覆の剥がれた電源コード、安全接地の欠如など、危険な状況を作らないように注意してください。問題が発生した場合は、販売店や施工業者にお問い合わせください。

火災、感電の恐れがあります。



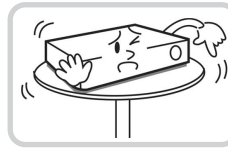
注意 指示事項を守らない場合、軽症を負ったり、製品が破損したりする可能性があります。

設置について



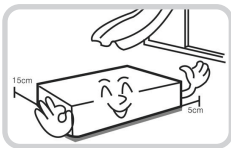
強い磁性や電波のある場所、衝撃のある場所、ラジオやテレビなどの無線機器に近い場所には設置しないでください。

磁石類や電波、振動の届かないところに設置してください。



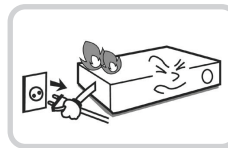
水平で安定した場所に設置し、垂直に立てたり斜めに置いて使用しないでください。

機器が倒れたり落ちたりする場合、故障したり人にけがをさせたりする恐れがあります。



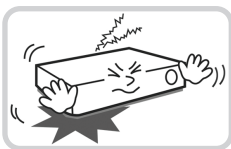
密閉されていない風通しの良い場所に設置し、室内の空気は適切に循環させてください。

周辺的环境要素により故障の原因となります。後面は15cm以上、側面は5cm以上あけて設置してください。



ユーザーが電源プラグを簡単に取り外せる場所に設置してください。

製品に深刻な異常や火災が発生した場合、電源プラグを抜いて危険要素を簡単に取り除けるようにしてください。



強い衝撃や振動のない場所に設置してください。

故障の原因となります。

使用について



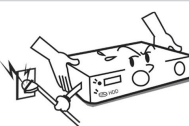
製品の上に重い物を置かないでください。

故障の原因となります。



通風のために開いている溝に導電性物体が落ちないように注意してください。

故障の原因となります。



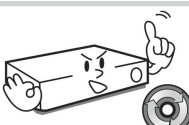
製品の駆動中には電源プラグを抜いたり、製品を動かしたりしないでください。

故障の原因となります。

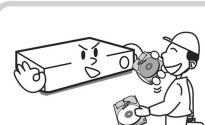


製品前面の録画LEDが点滅し続けていれば、システムとHDDが正常に接続されていることが分かります。

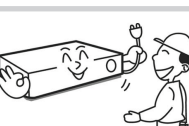
録画LEDが点滅し続けているかどうか随時確認してください。



HDDの空き容量がなくなったときに録画を続けるために設定を変更して録画を続ける場合、既存のデータが削除されるため再度確認してください。



とくにシステム稼動中は、振動や衝撃を与えないでください。デジタルレコーダはハードディスクドライブに録画データを保存しています。ハードディスクはわずか数ミクロンの隙間をディスクが高速で回転しており、システム稼動中に振動や衝撃を与えるとハードディスクが損傷し、デジタルレコーダが起動しなくなったり、録画データが読み出せなくなったりします。内蔵ハードディスク、放熱ファンは消耗品です。約30,000時間(この時間は部品の性能を保証するものではありません)を目安に交換されることをお勧めします。交換の際は購入店にご相談ください。



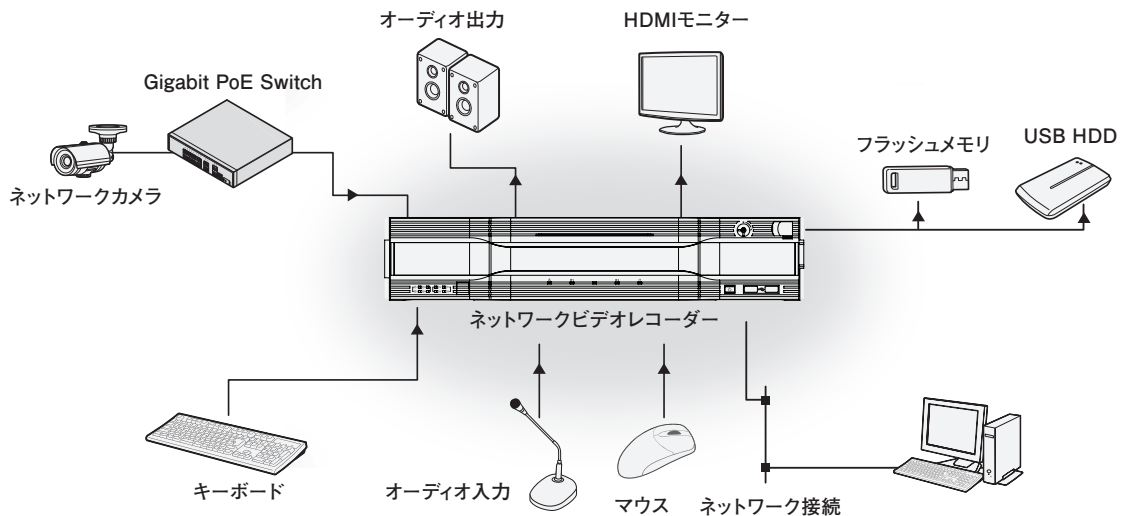
製品の動作状態を随時確認し、異常が見つかったときはすぐに販売店やサービスセンターにお問い合わせください。

第1章—製品紹介

製品の特徴

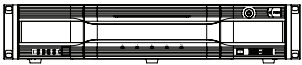
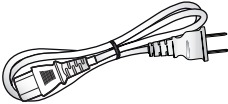
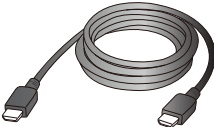
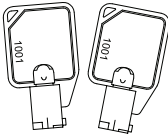


本機はネットワークカメラまたはビデオエンコーダ（以下、ネットワークカメラまたはカメラという）の映像監視、録画及び再生機能を持つネットワークビデオレコーダ（以下、NVRという）で、次のような特徴があります。

- H.265に対応
- UHDの解像度に対応
- 2 HDMI映像同時出力
- 2USB2.0ポート、4USB3.0ポート提供（マウス、キーボード、S/Wアップデートおよび再生映像の保存）
- SATA2 HDD 8BAY 対応, eSATA 3 ポート対応
- 録画データを2つのディスクに同時に記録するミラーリングに対応（RAID 1、5、10）



付属品の確認

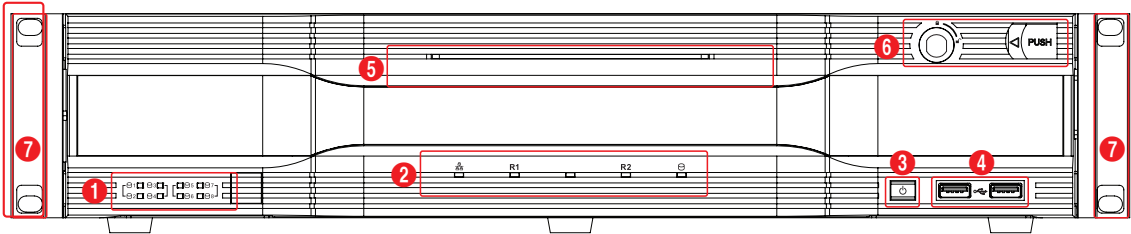
製品の梱包を開けて、下記の付属品がすべて含まれているか確認してください。

			
ネットワークビデオレコーダ	電源ケーブル×2	HDMIケーブル	ドアロックキー
			
マウス	キーボード	保証書	

<input checked="" type="checkbox"/>	ソフト(JSS遠隔監視システムPRO)及びマニュアルは購入先へお問い合わせください。
<input checked="" type="checkbox"/>	本資料を含め、下記の各種取扱説明書およびソフトウェアは、WEBサイトから入手可能です。購入先までお問い合わせください。
<p>【取扱説明書】設置運用マニュアル(pf-sv1000_im_verX.XX.pdf)</p> <p>【取扱説明書】JSS遠隔監視システムPRO(JSS-RMSPRO_manual_verX.XX.pdf)</p> <p>※取扱説明書はPDFファイルのため、Adobe Acrobat Readerが必要です。</p>	

各部分の名称および機能

前面パネル



1	SATA LED	2	状態LED	3	電源ボタン	4	USB端子
5	電源LED	6	前面パネルロック装置	7	ラックマウント取付部		



- ・家庭用PCのように、USBマウスを利用して各設定ウィンドウやメニューに移動することができます。
- ・システム設定を円滑に行うため、USBマウスの使用をお勧めします。

1 SATA LED

- RAIDモードまたはHDDの状態を表示します。

LED	HDD状態
緑色点灯	SATA HDD装着
緑色点滅	データの入・出力発生
赤色点灯	RAID破損
赤色点滅	RAIDの再構築を行う
緑色/赤色点灯	HDD/RAIDエラー発生
消灯	SATA HDD未装着

2 状態LED

- ・ ネットワークLED：本装置がイーサネットによりネットワークに接続されているときに点灯します。
- ・ R1/R2 LED：RAIDの構成により下記のようにLEDが動作します。

NON-RAID	消灯
RAID 1 or RAID 10	点滅
RAID 5	点灯

- ・ SSD LED：OS SSDが接続されているときに点灯します。

3 電源ボタン

電源をオンにするときに使用します。

4 USB端子 (USB2.0対応)

・ HDD接続

USB端子にUSB外付けハードディスクやフラッシュメモリを接続してバックアップに使用することができます。外付けハードディスクはなるべく製品本体に近いところで接続してください。通常180cmを超えないケーブルで接続することをお勧めします。外付けハードディスクと一緒に提供されたUSBケーブルで製品本体のUSB端子に接続してください。

・ 外部機器の接続(マウス等)

USB端子にUSBマウスを接続することができます。また、USB⇄シリアルコンバーターを接続し、テキストインデバイスをいくつか接続するのに使用できます。



USBフラッシュメモリはFAT32フォーマットのみに対応します。

5 電源LED

- ・ 本体が動作中に点灯します。

6 前面パネルロック装置

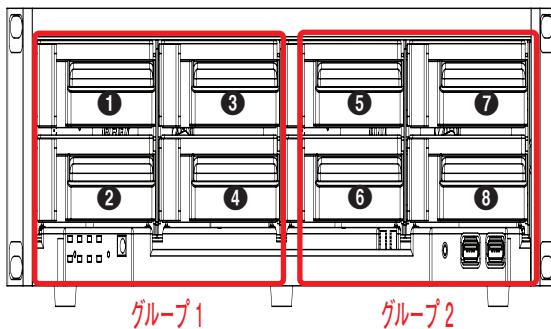
ハードディスクを交換する際に使用します。ハードディスクの交換方法についての詳細情報は下図をご参照ください。

7 ラックマウント取付部

ラックマウントへの取付け時に使用します。

ハードディスクの手順案内

前面パネルを開けたとき、ハードディスクは下記のように番号で管理されます。



ハードディスクを設置する際の注意事項

RAIDとして使用したハードディスクはRAIDを構成したセットからRAIDを削除するか、ローレベルフォーマットを行ってから使用する必要があります。そうでない場合、RAIDエラーとして認識され接続されたすべてのハードディスクデータが削除されるおそれがあります。ハードディスクの追加、除去、交換は電源をオフにしてから行ってください。



- 製品はHDDを2つ搭載した状態で出荷していません。HDDを3つ以上搭載した状態での輸送は製品にダメージを与える可能性がありますので行わないでください。
- HDDは偶数個の搭載が必要です。
- HDDの追加、交換、設定には専門の知識と技術が必要です。必ず販売店までご連絡いただき専門のエンジニアにご依頼ください。
- RAIDを使用する場合は、最低4つ以上のHDD搭載が必要です。
- RAIDを構成するには同一型番、容量のハードディスクを使用する必要があります。
- RAIDがデグレードされリビルド中の場合には当該RAIDを構成するハードディスクを除去しないでください。除去する場合、RAIDが損傷して接続されたすべてのハードディスクデータが削除されるおそれがあります。

RAID構成する際の注意事項

下記のような4つのRAID構成に対応します。

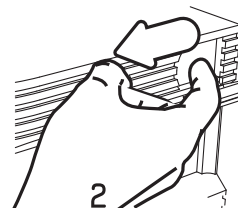
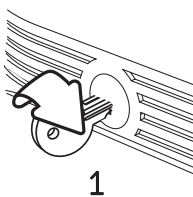
構成1	*R1(1,2), R1(5,6) 内部SATAポート1、2、5、6にハードディスクを接続した場合に可能
構成2	R1(1,2), R1(3,4), R1(5,6), R1(7,8) 構成1を設定した後、内部SATAポート3、4、7、8にハードディスクを追加した場合に可能
構成3	R5(1,2,3,4), R5(5,6,7,8)
構成4	R10(1,2,3,4), R10(5,6,7,8)

* 構成表記、例：R1(1,2)は内部SATAポート1、2に接続されたハードディスクで構成されたRAID 1を意味

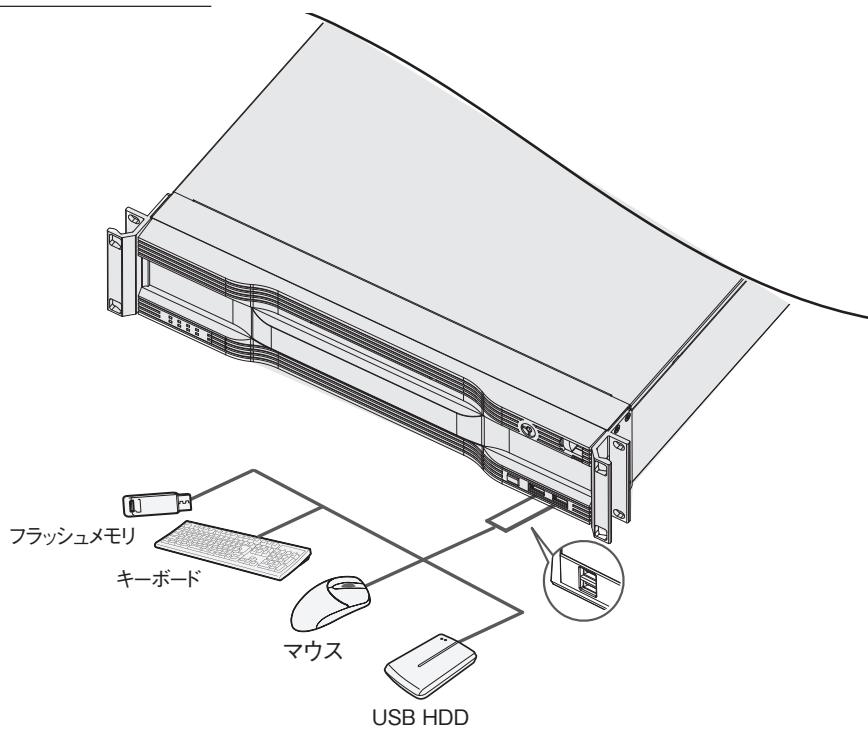
フロントドアの開き方

- ✓ 1 同封のドアロックキーを挿入し、時計回りに回します。
- 2 左側のドアを開くボタンを押します。
- 3 フロントパネルが取り外され、HDDを交換できます。

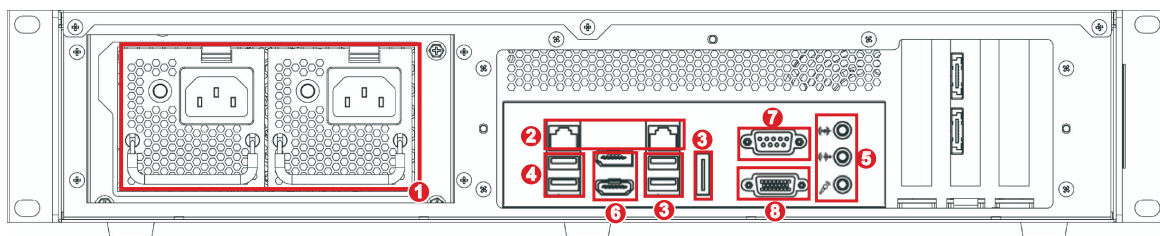
DOOR OPEN



前面パネルの接続図



後面パネル



①	電源入力端子	②	ネットワーク端子	③	eSATA端子	④	USB端子
⑤	オーディオ入出力端子	⑥	HDMI出力端子	⑦	CONSOLEポート	⑧	VGA出力端子

電源ユニットLED 警報規則

条件		パワーモジュール#1		パワーモジュール#2		Buzzer
ACコードの有無		緑色LED	赤色LED	緑色LED	赤色LED	
パワーモジュール#1	パワーモジュール#2	緑色LED	赤色LED	緑色LED	赤色LED	
装着	非装着	点灯	消灯	消灯	点滅	On
非装着	装着	消灯	点滅	点灯	消灯	
装着		点灯	消灯	点灯	消灯	Off
		消灯	警告状況発生 のときに点滅	消灯	警告状況発生 のときに点滅	Off
		消灯	故障時に点灯	消灯	故障時に点灯	On

HDMI端子使用時の注意事項

- HDMIを使用する場合は、HDMIのロゴが表示された認証済みのケーブルを使用する必要があります。認証済みのHDMIケーブルを使用しない場合、画面が見えなかったり接続エラーが発生することがあります。
- 次のようなHDMIケーブルのタイプをお勧めします。
 - 高速HDMIケーブル(High Speed HDMI Cable)
 - イーサネット対応高速HDMIケーブル(High Speed HDMI Cable with Ethernet)

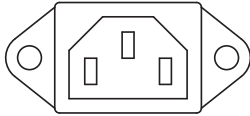
ラックマウント設置時の注意事項

- ユーザーは必ず設置しようとするラックの設置マニュアルの通りご設置をお願いします。
- ラックに使用するネジは当該ラックで提供されるネジ若しくは設置マニュアルに記載されている寸法のネジだけ使ってください。
- ラックに設置する時には、必ず熟練した技術者が設置する必要があります。

後面パネルの接続

① 電源入力端子

電源コードを接続します。電源を接続するとすぐに起動します。



- 電源コードはきれいに配線し、足に引っかかり、家具などによって被覆が剥がれないように注意してください。また、電源コードはカーペットの下を通さないでください。
- 電源コードにはアース用端子があります。コンセントにアース端子が無い場合でも、プラグを変形させないでください。
- タコ足配線は危険ですので、お止めください。

	注意 - 感電の危険
	すべての電源をオフにします

② ネットワーク端子



本システムはイーサネットコネクタを利用してネットワークに接続することができます。RJ-45プラグを使用する Cat5e/Cat6ケーブルを接続します。

- 機種によっては、コネクタの方向が異なることがあります。
- 接続されたネットワークが1000 Base-Tである場合は右側に緑色のLEDが点灯し、Linkされると左側にオレンジ色のLEDが点滅します。

③ eSATA端子

外付けハードディスクを接続できます。



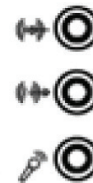
- 電源が入ったままの状態、eSATA機器を接続したり、取り外したりしないでください。eSATA機器を接続する場合、まずシステムを終了し電源ケーブルを外してください。その後、eSATA機器をケーブルで接続し、eSATA装備の電源を入れた後、機器の電源を入れてください。eSATA機器を取り外す場合、まずシステムを終了し電源ケーブルを外してから、eSATA機器の電源をOFFにした後、eSATA接続ケーブルを取り外してください。

④ USBポート



USBポートにはSuperSpeed USB 3.0(5Gbps)、HighSpeed USB 3.0(48Mbps)、そしてFullSpeed USB 2.0(12Mbps)スピードの製品に対応しています。

⑤ オーディオ接続



オーディオ機器をオーディオ入力に接続し、アンプが内蔵されたスピーカーをオーディオ出力に接続してください。

- 録音することが許容されているか、当該地域の法律を確認してください。

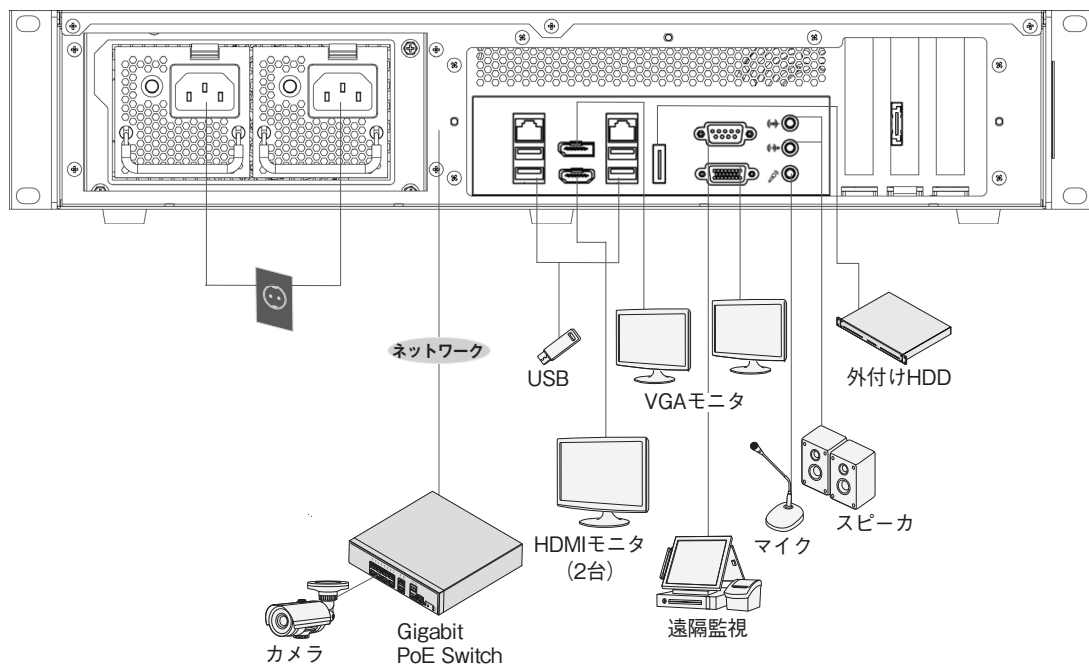
6 HDMI出力端子

HDMI端子にモニタを接続することができます。



- HDMIを使用する場合は、HDMIのロゴが表示された認証済みのケーブルを使用する必要があります。認証済みのHDMIケーブルを使用しない場合、画面が見えなかったり接続エラーが発生することがあります。
- 次のようなHDMIケーブルのタイプをお勧めします。
 - 高速HDMIケーブル(High Speed HDMI Cable)
 - イーサネット対応高速HDMIケーブル(High Speed HDMI Cable with Ethernet)

後面パネルの接続図



第2章—RAID 設定

紹介

JMicron HW RAID Managerを設定し、JM micron HW RAIDコントローラーに接続されたディスクの状態を監視することができます。

JM micron HW RAID Manager GUIウィンドウを開くと画面の右下の隅にある通知トレイに実行アイコンが表示されます。

GUIウィンドウの右側にある**Basic Mode** ボタンを押すと、下記のように3つのボタンが表示されます。下記の設定を通じて基本的なRAID設定とすべてのディスクおよびRAID情報を照会することができ、Basic Modeでのイベントログも照会することができます。



<RAID and Disk Information>



<Event Log Viewer>



<Basic RAID Configuration>

また、GUIウィンドウ上段のボタンでウィンドウ最小化、ウィンドウを閉じる、通知オフ、Aboutウィンドウオープン機能を行うことができます。



<Basic Mode>

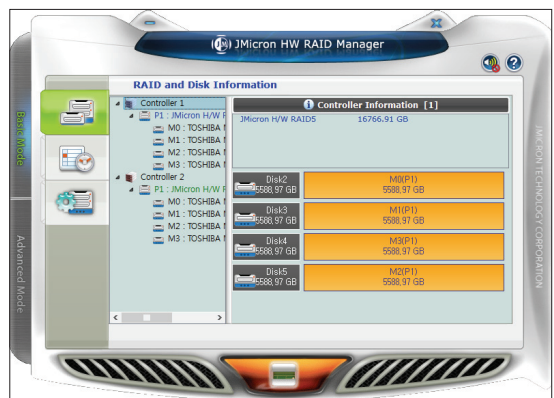
開始

Basic ModeでディスクとRAID情報およびイベントログを探索し、接続されたディスクの基本的な設定を行うことができます。

RAID and Disk Information

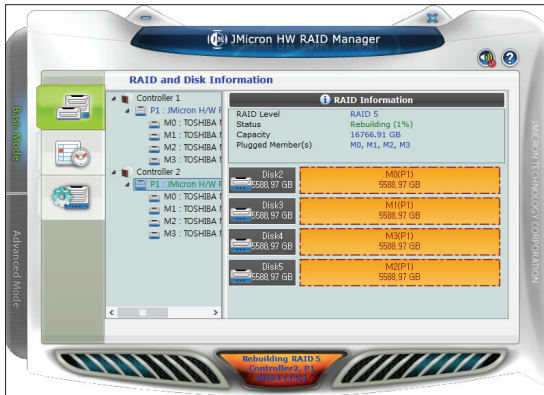
RAID and Disk Information ウィンドウ左側のツリーメニューは当該プラットフォームのすべてのコントローラーと接続されたRAIDおよびディスクを表示します。ツリー項目を選択すると、項目に該当するリアルタイムの詳細情報が右側の画面に表示されます。

コントローラーの情報(Controller Information)



コントローラー項目を選択すると、モデル名とともに特定のコントローラーに接続されたRAIDおよびディスクの容量が画面の右上に表示されます。その下段には接続されたディスクチャートが表示され、RAID構成ディスクは各RAIDにより他の色でチャートに表示されます。

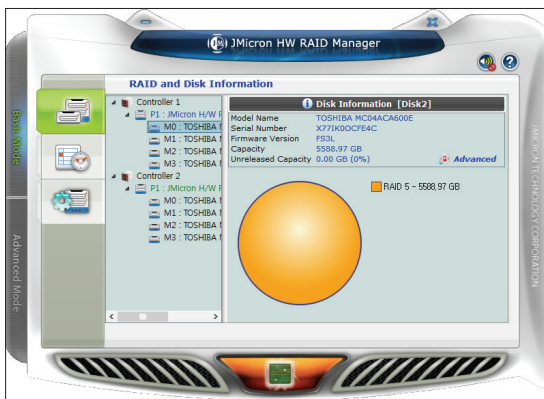
RAIDの情報(RAID Information)



RAID項目を選択すると、画面の右上に特定RAIDの詳細情報が表示され、その下段にはRAID構成ディスクチャートが表示されます。

選択したRAIDが再構成状態にある場合、ツリーメニューで緑色に表示されます。また、再構成進行中の表示が画面の下に表示され、その中間には再構成の完成率が表示されます。**RAID Information** をクリックすると、ディスクLEDを同時に点灯して特定RAIDの構成ディスクを区別することができます。

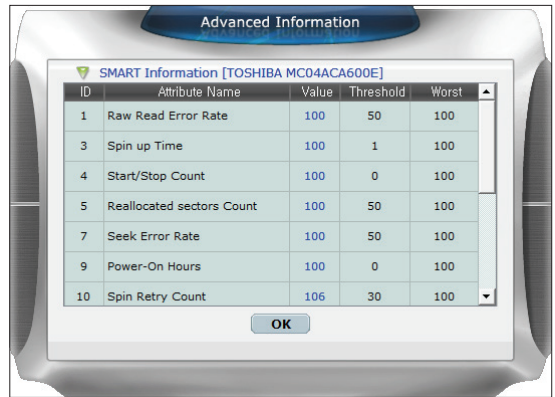
ディスクの情報(Disk Information)



ディスク項目を選択すると、画面の右上に特定ディスクの詳細情報が表示され、その下段にはディスクパイチャートが表示されます。

選択したディスクが再構成中のRAIDの構成ディスク中のひとつである場合、再構成進行中の表示が画面の下に表示され、その中間には再構成の完成率が表示されます。

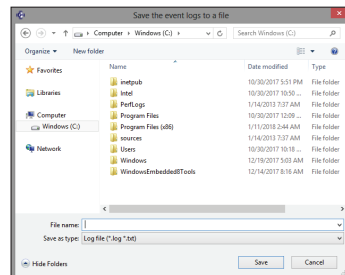
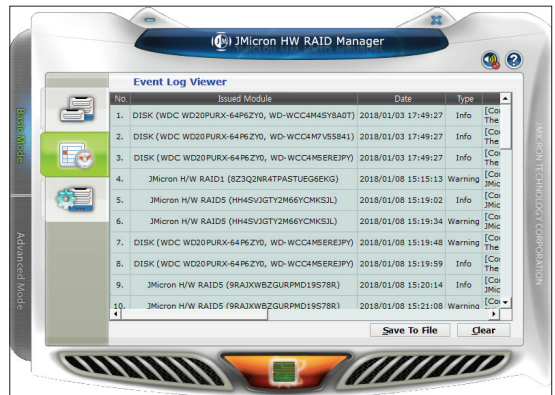
Disk Information をクリックすると、ディスクLEDを同時に点灯して特定RAIDの構成ディスクを区別することができます。



該当ディスクがRAIDの構成ディスクの場合、画面の右下の隅に表示される『Advanced...』をクリックして当該ディスクのSMART情報を確認することができます。

Event Log Viewer

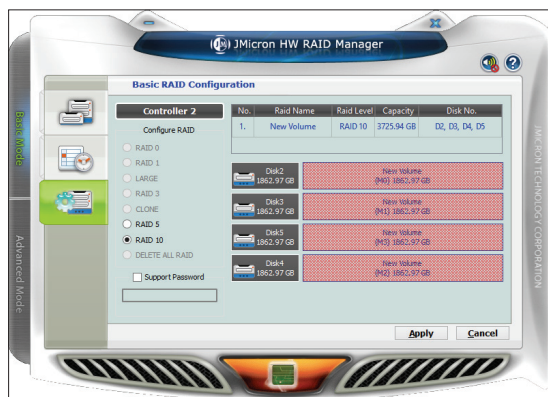
JMicron HW RAID Managerは接続されたすべてのディスクとRAIDの状態を監視してイベント発生を記録し、**Event Log Viewer** ページで確認することができます。



- **Save to Profile** : ポップアップウィンドウからプロフィール名を入力すると、使用者のプロフィールにログを保存することができます。
- **Clear** : すべてのログが削除されます。

Basic RAID Configuration

JMicron HW RAID Managerを通じて接続されたディスクに基本的なRAID設定を行うことができます。



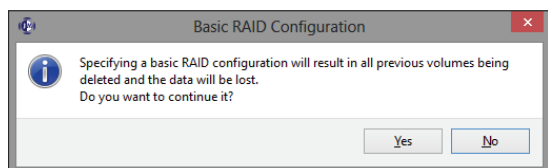
接続されたディスクの個数と容量によって使用可能なRAIDの種類を選択することができます。RAIDの種類を選択すると、JMicron HW RAID Managerが自動的にRAIDを構成するディスクを選択してRAIDの容量を計算します。選択されたディスクチャートは、右側の画面にクロスパターンで表示されます。

例) RAID 10を選択した場合、

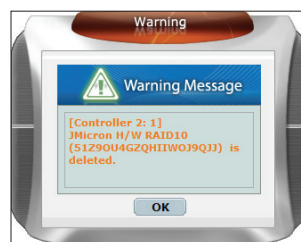
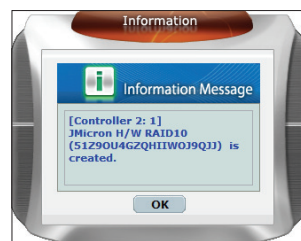
RAID 10を構成するために使用可能なディスク4個がディスク番号の小さい方から選択されます。同時に、最も小さいディスク容量とRAIDの総容量を計算します。

RAIDの種類を選択してパスワードを設定した後(選択事項)、**Apply** ボタンを押します。**Cancel** ボタンを押すと、既存のディスク状態で維持します。

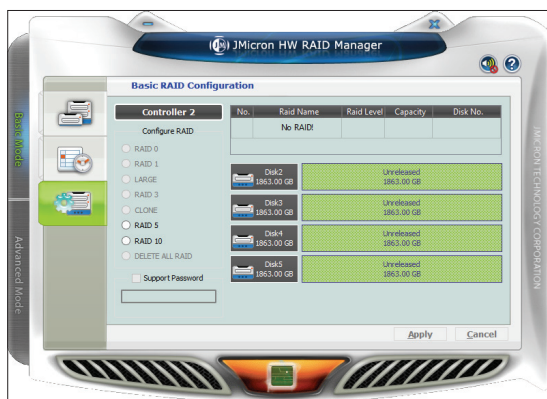
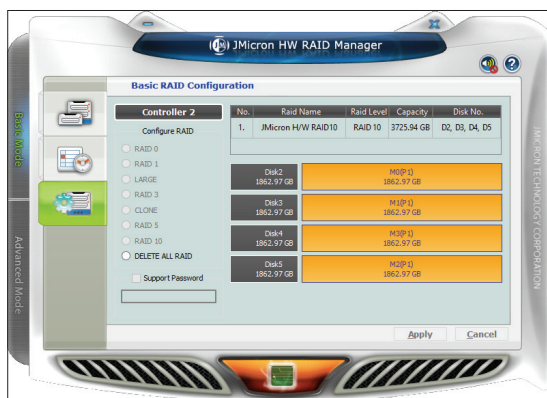
現在、存在するRAIDを削除するには**DELETE ALL RAID** を選択します。選択した後、**Apply** ボタンを押すと確認ウィンドウが表示されます。



Apply ボタンを押すと、設定を適用する進行状況ウィンドウが表示されます。



適用が完了すると、新規に生成されたRAIDあるいは削除されたRAIDを知らせるウィンドウが表示されます。



RAIDの設定がすべて完了するとディスクチャートが表示されます。新規に生成されたRAIDは、オレンジ色のグラデーションで表示され、削除されたRAIDは緑色で表示されます。

RAID設定後、JSS遠隔監視システムPROサービス管理者でサービスを再起動しないと変更されたストレージが正常に認識されません。

第3章－復元ソリューションユーザーガイド

WinClon 復元領域へ入る

1 起動する場合F11キーを押してください。

モニターの応答速度によってモニターディスプレイが遅くなることがあります。モニターを確認し、キー入力すると、Windowsで起動する可能性がありますのでできるだけ電源が入ってすぐにF11キーを入力してください。

2 下のような画面が出て来た場合F3キーを押すか、マウスを使って画面中央のRestore to Initial State[F3]をクリックしてください。.



3 パスワードを入力してください。工場出荷時の初期パスワードは0000です。

4 復旧が完了すると、完了メッセージウィンドウの **OK** ボタンをクリックします。システムは復旧した環境で自動的に再起動します。

製品の仕様



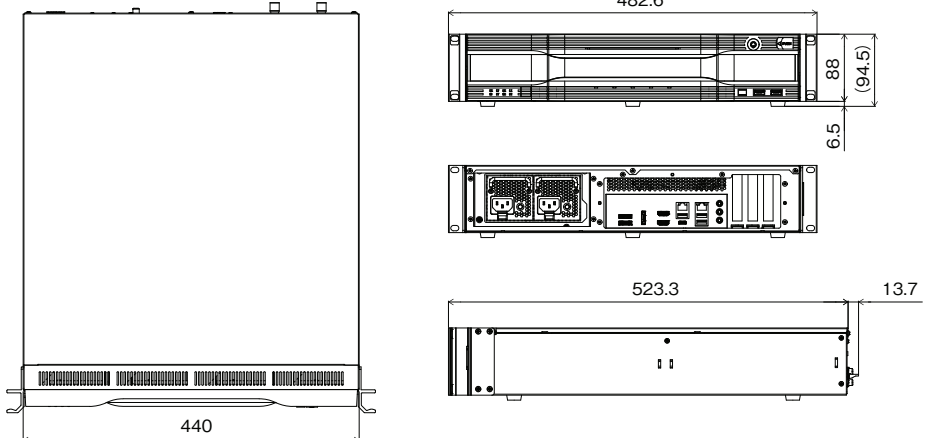
本製品の仕様は、製品の改良のため、事前予告なしに変更されることがあります。

仕様

ソフトウェア	インストールソフトウェア	JSS遠隔監視システムPRO
	ビデオ入力	64ch推奨
	対応カメラプロトコル	JSS、ONVIF (Profile S、T)
	最大処理能力	400Mbps、1920ips@UHD
	最大録画解像度	12MP (ネットワークカメラに依る)
	画像圧縮方式	H.265、H.264
	録画モード	タイムラプス、イベント、プリイベント、パニック
	検索モード	タイムラプス (カレンダー日時指定)、イベントログ、テキストイン、サムネイル、AI検索
	バックアップ	USB記録装置 (USB HDD、USBメモリなど)
	RAID	RAID 1、5、10
同時接続クライアント	ライブ:64台 / 録画再生:10台	
システム	CPU / コア・スレッド	Intel Core i5-10500 / 6コア・12スレッド
	CPUクロック周波数	3.1GHz
	メモリ	DDR4 PC-25600 16GB
	ストレージ	HDD:内蔵:12TB (標準) / 24TB / 48TB / 72TB / 96TB (最大) SSD:240GB (システム)
	最大解像度	最大3840×2160
搭載オペレーティングシステム	Microsoft Windows 10 IoT Enterprise	
インターフェース	映像出力	HDMI (Ver.2.0)×2 (1UHD@60ips×1 / 1UHD@30ips×1)
	オーディオ入力 / 出力	マイク入力端子 (3.5mm)×1、音声出力端子 (3.5mm)×1
	USB端子	USB 2.0×2、USB 3.0 (TypeA)×3、USB 3.0 (TypeC)×1
	イーサネット	GbE RJ-45 Ports (1000Base-T)×2
	WLAN	—
	アラーム入力 / 出力	—
	内蔵ブザー	有り
	SATA	SATA×8、eSATA×3 (背面)
一般	外形寸法	約440 (幅)×88 (高)×515 (奥)mm ※突起物含まず
	筐体形状	2Uラックマウント筐体
	質量	約12,600g (HDD×2装着時)
	使用温度範囲	0~40℃ (湿度90%未満 ※結露しないこと)
	電源 / 消費電力	AC100-240V、50/60Hz、8.0-4.0A / 120W×2
同梱物	サーバ本体×1、電源ケーブル×2、安全上の注意事項×1、マウス×1、キーボード×1、保証書×1	

外形寸法図

単位: mm



アフターサービスについて

この製品は「保証書」を別途添付しております。所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

■ 保証について

正常な使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書記載内容により、お買い上げの販売店(または工事店)が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。

- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 本製品が故障した場合、稼働していない時間に対する営業損失は補償対象外になります。

■ 定期点検・保守について

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検の実施をおすすめします。詳しくは、お買い上げ販売店(または工事店)にご相談ください。

- 万一故障が発生した場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。
本製品は当社保証規定に基づいて保証させていただいております。

修理を依頼されるときは

下記事項をお買い上げ販売店にご連絡ください。

- ① 故障の状況(できるだけ詳しく)
- ② 品名と品番
VMS ソリューションサーバ [PF-SV1000]
- ③ お買い上げ年月日(保証書に記入)
- ④ 製造番号(保証書に記入)
- ⑤ お名前、おところ、電話番号

JAPAN SECURITY SYSTEM
Safety and trust keep to the future

ご購入元メモ欄

株式会社 ジャパン・セキュリティシステム

〒105-5111 東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービルディング南館 11階

www.js-sys.com/

本製品の仕様は製品の質を高めるために事前の予告なく変えられる場合があります。